

博士学位論文題目一覧 (2017年度7月末時点)

研究指導	論文題目	
社会哲学	コミュニティ再生の方位と原理 ー新しい労働運動および互助システムの形成にみる近代理念の弁証法的展開ー	
	コミュニティの在り方と主体化の位相に関する考察 ー社会的交換の視点から捉えた個人と社会ー	
	コミュニティの再生に関する考察 ー新たな互酬性の形成と場所の創出による地域協働ー	
	軍隊の歴史的展開と国家および社会との関係に関する考察 ー権力政治の超克に資する軍隊の検討ー	
	生活世界の位相に関する考察 ー現象学の視点から見た環境ボランティアと自然ー	
	医療供給体制と職業集団としての医師集団の再構築 ーゲノッセンシャフトによる高度専門職の水準の維持についてー	
	現代医療と生命倫理の哲学的基礎に関する考察 ー「脳死・臓器移植医療」および「尊厳死」を事例としてー	
	企業人の社会貢献意識の高まりとその意義 ー個人の社会的責任の自覚と実践ー	
	社会的承認および労働の意義に関する考察 ー経済社会の変遷と社会的承認の問題ー	
	国民国家および組織社会のディレンマ ーワイマール／ナチ時代のなかのホワイトカラー層の考察からー	
	社会思想	チャールズ・テイラーと権利主体論 ー現代多文化社会における「権利主体としての自己」を巡る研究ー
		留岡幸助と大原孫三郎の社会思想 ー日本近代化過程における社会改良実践の考察ー
		キリスト教と近代西洋政治思想 ー平和と自由と民主主義の探求ー
ロールズ 誤解された政治哲学 ー公共の理性をめざしてー		
ローティの思想における一貫性 ーその解釈学的側面についてー		
アイザイア・バーリン ー多元主義の政治哲学ー		
清水幾太郎の思想史的研究 ー形成、発展と現実への展開ー		
長谷川如是閑研究 政治・外交論を中心に		
経済社会学	18世紀イギリス経済思想の展開における消費者概念の形成 ーロックからスミスまでー	
	戦後ドイツ秩序自由主義による資本・福祉・EUへのアプローチ研究	
生命倫理学	有機体と「地」のエレメント ーヘーゲル『精神現象学』の有機体論を解説するー	
	「中間」と〈中間〉 ー南方熊楠 夢の記述に関する研究／「やりあて」と関連させながらー	
国際関係論	1990年代におけるロシア極東地域の地方政府の対外協力と中央・地方関係 ーハバロフスク地方、沿海地方における対中国関係を中心としてー	
	フィリピンにおける民主主義への移行とその定着に関する総合的研究 ー市民社会の政治力学に注目してー	
	東アジア地域空間の変動と形成	
	東北アジア・サブリージョンにおける内発的越境ガバナンス ー「北東アジア地域自治体連合 (NEAR)」の事例研究ー	
	戦後沖縄における帰属論争と民族意識 ー日本復帰と反復帰ー	
比較文化・比較近代化論	ナショナリズムを包摂する「文明」と超克する「文明」 天道教の民衆的功利主義、申采浩の道徳的自由と、近代東アジア	
	母権的ロマン主義受容史 ーバハオーフェンを中心にしてー	
	冷戦レトリックの形成過程 ートルーマン大統領のレトリック戦略を中心にー	
比較文化・比較基層文化論	新渡戸稲造と明治時代	
	モダニズム芸術における認識の変容 — ジョイスを中心に —	
	日本の知識人と記紀神話 ー津田左右吉・和辻哲郎・丸山真男・河合隼雄ー	
EU地域研究・比較環境政治	音声読書としての朗読研究 ーその文化的側面と可能性ー	
	現代スペインの福祉政治 ー分権化と南欧福祉国家の変容ー ドイツにおける移民政策と社会統合 連邦と自治体の取り組みから	

博士学位論文題目一覧（2017年度7月末時点）

研究指導	論文題目
アジア研究	The East Asian Currency Crisis and Exchange Rate Management
	アジア諸国における環境対応と産業発展
ユーラシア研究	産業構造変化と経済成長 －産業間資源再配分の労働生産性上昇効果に関する実証分析－
	中国経済の転換点に関する研究
	2000年代における農業部門を対象とした実証研究
日本研究・日本歴史論研究	副島種臣と明治国家
	江藤新平と明治初期財政 －明治草創期の国家形成に関する基礎的研究－
	台湾総督府の統治政策と台湾人 －包摂・適応・自主の観点からの再考－
	営業税廃税運動の政治経済過程 －戦前期日本における制度変革の分析－
	奥宮槌齋の研究 －明治時代を中心にして－
	南方熊楠と近代日本
	近代日中関係史の起点 －「日清修好条規」の締結と李鴻章－
日本研究・日本文化論研究	石川三四郎のユートピア構想 －近代日本の知識人による理想社会論構築と社会改革の試み－
	日本における韓流現象と韓国の韓流に対する認識
	川端康成の「魔界」に関する研究 －その生成を中心に－
	「思想の科学」の思想およびその方法
行政過程論	公共領域の組織過程論
	市町村合併の政策過程 －「昭和の大合併」を題材に－
	非官吏制度の研究 戦前期日本における雇員・傭人・待遇官吏の成立および変遷
財政論	公共政策としてのマクロ経済政策 －財政赤字の発生と制御のメカニズムに関する考察－
	公的部門における資金調達・運用の持続可能性 －非銀行部門における政府債務累積がマクロ経済に及ぼす影響と制御可能性に関する考察－
	レジ袋の環境経済・政策研究 －環境政策手法の選択問題と動的相互作用－
	ヘドニック・アプローチによる地域住民の選好の推定 東京大都市圏の賃貸住宅を事例として
刑事関係法	電脳空間における刑事的規制
現代人権論	マスコミ規制の論理 －憲法学を中心とした学際的考察－
	多極競合的人権理論の可能性 －「自己決定権」批判の理論として－
	近代立憲主義による租税理論の再考 －国民から国家への贈り物－
福祉関係論	介護事故の法政策と保険政策に関する研究
	当事者性の付与と引き受けに関する研究 －触法精神障害者家族を手掛かりとして－
管理技術論	顧客志向経営の本質とその構造の解明
会計情報論	動機付けにおける自己申告の意義
政策情報論	地方自治システムにおける政策形成プロセスの研究 －政策情報論からのアプローチ－
	人間の実務的意思決定のあり方に関する一考察 －納得できる意思決定という概念枠組みの構築－
	ブータンの情報社会 －情報生態系モデルの構築とその実践的検討－
市民生活関係法	地役権における「黙示の合意」解釈の妥当性と再構成
現代経済開発論	途上国における省エネルギー行動の説明要因 －社会規範の役割－
	途上国における循環型社会形成の政策課題 リサイクルセクターの能力形成
	中所得国における持続的成長のための基盤・要件に関する研究

博士学位論文題目一覧（2017年度7月末時点）

研究指導	論文題目
国際協力・平和構築論	「アルバニア人居住圏」地域にみる民族・宗教とアイデンティティ －現代バルカン半島の平和構築に向けて－ 国内避難民に対する人道支援の枠組みに関する考察 スーダン・ダルフル紛争下の国内避難民キャンプ社会を事例として
都市居住環境論	大都市圏における都市衰退と潜在力の評価に関する研究
国際経営論	リソース・ベースド・ビューに基づく企業国際化に関する考察 総合商社の本質 －その存続性に関する考察－ Lobbying strategies of foreign firms in Japan: from money and pressure to knowledge building －Corporate Political Activities (CPA) in an International Business (IB) context－
比較憲法論	障害差別禁止法理とは何か －日英障害差別禁止法理における主体的な個人としての個人像に立脚した平等権保障の規範的枠組－
漢字文化圏研究	日中韓三国の専門用語における語彙・文字に関する研究 －医学・化学分野の漢字・漢語を中心に－
企業法制研究	国際課税における租税回避の問題と対応 大規模公開会社における取締役の監督義務とコーポレートガバナンス・コード
ラテンアメリカ研究	アルゼンチンカトリック教会の変容 国家宗教から公共宗教へ
課程外	分権化：必然性と陥穽 －東アフリカを中心に－ EU地域空間再編成とサブリージョン －越層する非国家領域的行為体とクロススケールガバナンスの視座からの分析－ リスク社会における犯罪不安の研究 －閉ざされた防犯活動と閉ざされた犯罪不安－ 「病い」の表象と学生ボランティア －ハンセン病の社会的意識変容に関する考察－ 「公共的なもの」の概念と展開 アーレントの思想の再検討と、戦後日本における「公共的なもの」の変容 功利性と言語 ベンサム功利主義思想研究